

みなみん

学校標語 「笑顔かがやき 優しさいっぱい」

練馬区立南田中小学校
校長 原田 知樹
NO. 14

今年の夏は、夏休みに入った途端に暑さが厳しくなり、コロナ対策、熱中症対策と気を付けることの多い夏休みとなりました。日数も少なく行動も制限されて、例年の夏休みとはだいぶ異なりましたが、新しい生活様式のもと、各ご家庭、工夫して過ごされたのではないかと思います。子供たちの日課帳や話から、夏休みの様子について聞いていきたいと思えます。

9月からは2年生り6時間授業が始まるなど、1週間の授業時数が今までよりも多くなります。授業にしっかりと取り組めるように、ご家庭では睡眠時間、食事等の体調管理についてご協力をいただくよう、お願いいたします。子供たちにとって、実り多い2学期が過ごせるように、職員一同、精一杯努めてまいりますので、ご協働、よろしくお願ひいたします。

☆Aさん お別れ会☆

7月30日（木）に、1学期で転校してしまう、Aさんのお別れ会を体育館で行いました。お別れ会を行うにあたり、いつものように、歌を歌ったりゲームをしたりすることはできないことをみんなに伝えると、すぐに、「リズム発表ができる。」「ウサギとカメの劇ができる。」など、1学期に学習したことを生かした発言が出されました。そこで、1学期の学習発表会のような形でのお別れ会を行うことになりました。

国語で学習した「ウサギとカメ」の劇では、カメがゆっくりゆっくり歩く様子がかわいかったです。「磁石を使ったおもちゃ」の発表では、織姫さまと彦星さまが、天の川を渡って会えるおもちゃに歓声が上がりました。わにの舌がによろよると出たり入ったりするおもちゃも、見ている子供たちにはとても好評でした。Aさんのリクエストで、ウサギ班で行った「いじわるコンキチ」の劇では、「どんぐりと山猫」で用いた効果音も登場し、学芸会のこと思い出されました。「リズム発表」では、「さんぽ」「アンパンマンマーチ」「パプリカ」の曲に合わせて、各グループ、楽しくリズム打ちをしました。「なごり雪」や「トルコ行進曲」「喜びの歌」など、自分の好きな曲でリズム演奏をするグループもありました。こうしてお互いの出し物を楽しんだ後は、みんなからのお手紙のプレゼント、そして最後には、Aさんがみんなに書いてきてくれたお手紙を、Aさんから一人一人に手渡しで渡してくれました。その時に、手紙を渡す友達とのエピソードを思い出しながら、一言添えてくれました。その様子から、みなみんの友達と過ごした時間の重みを感じ、やはり、みなみんの友達はみんな仲間なのだ、と改めて思いました。

Aさんには新しい学校でも活躍してほしいです。私たち、みなみん学級の友達もまた仲良く過ごしていこうと、みんな心に誓ったお別れ会でした。

